

JIS A 5538

F★★★★



環境接着剤シリーズ

JAIA 4VOC基準適合

壁・天井ボード・ ガラスクロス用接着剤 W-4N

ロックウールボード、せっこうボード、天井化粧吸音板などをせっこうボード下地に釘と併用で施工するのに適した、酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形の接着剤です。



酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤

水性エマルジョン形

| 容量 | 包装形態 | 梱包単位 |
|------|--------------|------|
| 20kg | ダンボール(エコパック) | 1 |
| 3kg | ポリ容器 | 6 |
| 3kg | ポリ袋 | 6 |
| 750g | ポリ容器 | 20 |

用 途

| | ボード施工 | ガラスクロス施工 |
|--------|---|-------------------------|
| 適用箇所 | 屋内の壁・天井 | |
| 適用下地 | せっこうボード | グラスウールボード、 ロックウールボード |
| 適用仕上げ材 | 繊維板、 せっこうボード、 グラスウールボード、 ロックウールボード | ガラスクロス |

標準使用量

| | |
|----------|---------------------------|
| ボード施工 | 150~200g/m ² |
| | 5.0~6.6m ² /kg |
| ガラスクロス施工 | 200~250g/m ² |
| | 4.0~5.0m ² /kg |

性 質

| | |
|---------|-----------------|
| 外 観 | 乳白色 粘稠液 |
| 主 成 分 | 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形 |
| 張合せ可能時間 | 0~15分/23℃ |

使用方法

■ボード施工の場合

【下地の確認】

下地は目違いや目地隙のないように仕上がっていることを確認します。

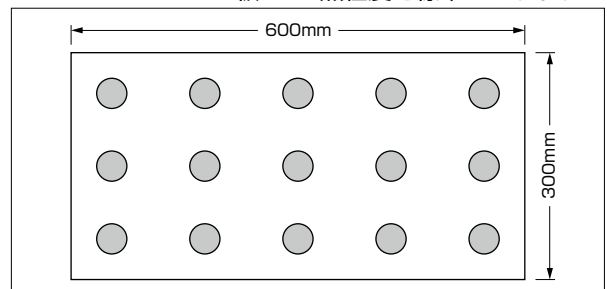
【下地の清掃】

下地及び仕上げ材のゴミ・ホコリ・油分などは接着不良の原因となりますのでよく取り除きます。

1.【接着剤の塗布及び張り付け】

仕上げ材裏面に接着剤を点付けします。

300mm×600mm板で15点程度を標準とします。



2. (下図参照)

接着剤塗布後、手前から横にずらしながら所定の位置

3. へ圧着します。

仕上げ材圧着後、釘またはタッカー釘などで固定します。

■ガラスクロス施工の場合

【下地の清掃】

接着不良の原因となるゴミ・ホコリを取除きます。

【接着剤の塗布及び張り付け】

1. ハケやブラシでガラスクロス側に塗り溜りができないように、接着剤を均一に塗布します。

2. 接着剤塗布後すぐに張り付けます。

3. 接着剤が硬化するまで外力を加えないように養生します。

W-4N

取り扱い上の注意事項

W-4Nを取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 常時40℃以上となる所へは使用できません。
- 指定用途以外に使用しないで下さい。
- 品種の異なる製品や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。(0℃以下では凍結することがあります)
- 取り扱い場所及び施工場所は換気を行って下さい。
又、施工後も接着剤が硬化するまで、自然換気(日常生活の程度、朝夕1～2時間)を行って下さい。
- 使用時は必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切して下さい。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイをして下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落して下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)またはカタログをご参照下さい。
- W-4Nをご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

| | | | | | |
|---|--|--|--|---|---|
| 東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711 | 名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516 | 仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753 | 広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666 | 北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478 | 大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090 |
| 大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146 | 札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217 | 横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136 | 福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621 | 技術開発センター FAX: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010 | |

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イイズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

202303